

# 修了生の活躍事例

## 九州能開大へ入校し、将来のやりたいことが明確になりました！

高校では、普通科を卒業しましたが、小さいころからのづくりに興味があり、高校の進路指導の先生の勧めで、九州職業能力開発大学の電気エネルギー制御科（専門課程）に進学しました。入校の決め手は何より、4年生の国立大学と比べ学費も安く実験や実習時間が多く、将来の仕事と直結した専門知識や技術を多く学べるということです。

電気エネルギー制御科では電気工事やシーケンス制御を学び、最初は苦手だったシーケンス制御の授業も少人数訓練と担当指導員の様々な知識、技術で解決をしていただきました。その時に見た知識、技術に憧れを持ち、指導する立場に立ちたいと感じ、今の仕事に出会えることができました。

今では指導員となりましたが、専門課程の私はコミュニケーションが苦手と感じていて、実習もうまくいかない時もありました。能開大では専門課程、応用課程ともにグループで一眼となり製作物を製作する課題があります。チームで設計・製作を通して、知識を深めるとともにリーダー性や説明力を高めることができます。

今、自分がコミュニケーションが苦手だと感じる方も九州能開大に入校し、自分の強みややりたいことを見つけてみましょう！！

(独) 高齢障害求職者雇用支援機構  
鳥取支部 鳥取職業能力開発促進センター

長友 悠祐 さん (25)

九州職業能力開発大学校

応用課程

生産電気システム技術科

令和2年度 修了



### 大学校で習得した技能の集大成！！

学生時代に一番本腰を入れて取り組んだのは開発課題です。開発課題では、電気、電子情報、機械の3科合同でチームとなり、チームで仕様、設計、製作を行い、ものづくりの一連の流れを経験できるカリキュラムとなっています。

日々の実習で得た知識を基に、果敢に課題に取り組みますが、時には仲間と意見がぶつかることもありましたが、共に作り上げていく大変さや楽しさを学び、実習の成果が結果となって表れた時は、非常にうれしく、大きな自信となりました。能開大で学んだすべてが、現在の仕事に役立っています。



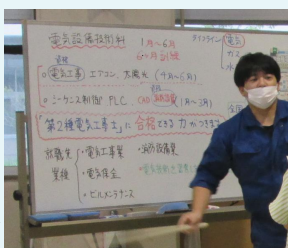
開発課題で製作した  
協働ロボットを用いた  
弁当盛り付けシステム

### 就職先企業での活躍

#### 長友 悠祐さんの業務

電気設備技術科に所属し、離職者訓練や在職者訓練で電気工事、シーケンス制御などを担当しています。今は専門課程や応用課程で学んだ内容を指導する立場となり、求職者や在職者の皆様へ職業訓練を通して技能や技術を伝える役割を担っています。

訓練を行う長友さん▶



#### 上司からの声 訓練課 漆谷 嘉則様

長友さんは向上心が高く、4年目で既に電気設備技術科のほぼすべての訓練が担当可能となっています。

また、指導技法の向上及び教材の開発にも力を入れており、令和6年度には他施設の同期職員と連携して、デジタル技術を取り入れた教材を教材コンクールへ出展しています。ポリテクセンター鳥取でも既に受講生及び職員から信頼される指導員ですが、今後、さらなる活躍を期待しています。



### (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 現在 九州職業能力開発大学校の修了生17名が活躍

高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED)は誰もが能力を発揮し働ける社会を目指し、職業能力開発の支援に力を入れています。高齢者や障害者の方々が、自分の能力や適性に合った仕事に就けるよう、職業訓練や就職支援を行っています。

求職者の方には、全国62施設のポリテクセンターにおいて離職者訓練やキャリアコンサルティングを提供しています。在職者に対しては、リスキリングや学び直し、DX人材育成等、時代の変化に対応できるような在職者訓練を準備しています。JEEDの取り組みは職業能力開発を用いて産業の基盤を支え、日本のものづくりを支えています。



 **JEED**  
らしく、はたらく、ともに